



火点に向かって放水する団員

特色を生かした訓練成果を披露

町消防団訓練成果報告会を初開催

町消防団訓練成果報告会は7月28日、町水防センター西側駐車場で開かれました。訓練成果を競う消防操法大会に変わるもので初めての開催。新型コロナウイルスにより十分な練習ができず、ポンプ操法の技術や技能の低下が懸念されたため、団員の負担軽減と団員全員が基本動作を習得できるよう訓練の在り方が見直されました。同報告会では、配備されているポンプ車の特性や各分団の特色を生かした訓練成果が披露されました。

福島大の学生が商品を開発

「猪苗代町産ブルーベリーミルクゼラート」

福島大と太郎庵、Roots 猪苗代は共同で開発した「猪苗代町産ブルーベリーミルクゼラート」の販売を8月6日から始めました。町と同大学の連携事業の一環で、食農学類の学生5人が猪苗代町産の農産物の魅力を広めようと商品を考案。丸山茉莉さんと佐藤佳乃さんは「夏の暑い時期に猪苗代湖を見ながら食べられるようにブルーベリーのゼラートを考えました」と話してくれました。Roots 猪苗代 Lake Area で販売し、なくなり次第終了。



商品を開発した福島大の学生と教員(右)



二瓶町長から感謝状を受けるアイリスさん(左)

外国語指導助手が交代

感謝状贈呈式と辞令交付式

任期満了に伴い外国語指導助手を退任するエドモンソン・アイリス・ラケルさん(米国出身)の感謝状贈呈式と新たに赴任するグティエレス・ブレンダさん(米国出身)の辞令交付式は7月31日、町役場で開かれ、二瓶盛一町長は、アイリスさんに感謝状と記念品を贈呈。ブレンダさんに辞令を交付しました。

アイリスさんは3期3年間にわたり、町内の中学校で英語授業の補助やスピーチコンテストなどに協力。町主催の英会話教室では講師を務めました。また授業だけでなく、磐梯山登山や学校行事にも積極的に参加し、生徒と交流を深めました。アイリスさんは「猪苗代の生徒たちは本当に親切で、面白く、そしてとても勇敢です。彼らの先生だったことをどれほど幸運に思うか、言葉では表せません。一緒に磐梯山に登ったり、教室を掃除したり、多くの素晴らしい思い出を作りました。猪苗代での3年間は笑いと愛と学びに満ち溢れていました。私をこの町に招いてくださり、心から感謝しています」とあいさつ。

ブレンダさんは「アイリスと呼んでください。ニューメキシコから来ました。趣味は読書と映画を見ることです。日本語をもっと上手になりたいです。よろしく願います」とあいさつしました。



アイリスさんと握手を交わすブレンダさん(左)



アニメキャラクターショーを楽しむ家族ら

Pick Up

今月の話題

夏の夜空を彩る いなわしろ花火

いなわしろ花火大会は8月17日、町運動公園で開かれ、約2500発の花火が夜空を鮮やかに彩りました。当日は一時的に強く雨が降りましたが、会場には出店が立ち並び、大勢の観客でにぎわいました。今年の花火大会のテーマは「ともに、明日へ」。東日本大震災からの復興と子どもたちの輝く未来に祈りを込め、音楽に合わせて大玉やスターマインの花火が次々に打ち上げられました。大迫力で打ち上げられる花火に会場を訪れた多くの観客からは大きな歓声が上がりました。花火打ち上げ前には、人気のアニメキャラクターショーや太鼓の演奏が繰り広げられ、訪れた家族連れなどがステージイベントを楽しみました。



太鼓の演奏で会場を盛り上げた猪苗代太鼓猪駄天

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Sep.2024
9
No.767

今月の表紙

音楽に合わせて打ち上げられたスターマイン。想いを込めたメッセージとともにメモリアル花火も打ち上げられ、会場は大いに盛り上がりました。



【撮影日】 8月17日
【撮影場所】 町運動公園

Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 まちのわだい
- 05 ホットニュース/地域おこし協力隊通信
- 06 特集 災害に備えよう
- 08 児童手当制度改正のお知らせ/第28回猪苗代新そば祭り
- 10 いなわしろタウンページ
- 16 暮らしの情報広場
- 18 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー



7月4日に学びいなかで開かれた壮行会で猪苗代中の生徒(右)からエールを送られた選手(左)たち

渡辺勇大選手・東野有紗選手 パリ五輪で銅メダルを獲得

7月26日から8月11日まで、第33回オリンピック競技大会がフランス・パリを中心に開催され、本町ゆかりの選手が出場しました。バドミントン混合ダブルスでは、渡辺勇大選手と東野有紗選手のペアが東京五輪に続いて2大会連続で銅メダルを獲得しました。同女子シングルスでは、大堀彩選手が準々決勝でリオ大会の金メダリスト、スペインのカロリナ・マリン選手に敗れベスト8。同男子ダブルスでは、小林優吾選手と保木卓朗選手のペアが1次リーグ4試合を戦って1勝3敗で残念ながら予選で敗退しました。

町民にたくさん感動と勇気がありがとうございました。これからも、皆さんが活躍されることに期待しています。

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

たかしげ
太田 考重さん

主な活動内容：地域共生のための地域づくり
コーディネート



8月から保健福祉課の地域おこし協力隊に着任した埼玉出身の太田考重です。以前は埼玉県内の福祉事業所で、高齢（介護老人保健施設）・障がい（B型事業所・教室事業・自立訓練・放課後等デイサービスなど）・児童（母子生活支援施設）の分野で多数の福祉事業に携わってきました。

私の地域おこし協力隊としての活動内容は、地域共生のための地域づくりです。地域共生とは、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていきけるよう、高齢者や子育て世代・障がいのある人もない人もすべての地域住民が支え合い、一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に作ることです。

多種多様な人たちが生きがいを感じ、充実した生活を送るためには施設や制度だけでは限界があります。特定の人に偏ったものではなく、さまざまな世代や町民の皆さんが互いに支え合える場所や交流できるイベントのお手伝いをしていきたいと思っております。よろしくお祈りします。

10年後の地域農業を考える

農業委員と町議会議員の意見交換会



農家の現状や課題などを話す農業委員

農業委員と町議会議員の意見交換会は8月7日、町役場で開かれました。町は、地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）を今年度末までに策定します。その中で農業委員会が、10年後に誰がどの農地を耕作するのかなどを地図にした目標地図の素案を作成するため、町議会議員と意見を交わしました。参加者からは、「後継者不足には嫁不足もある。結婚の促進や他県から人が入ってくるような魅力づくりが必要」など多くの意見が出ました。

12年前の思い出を語り合う

「えとタイムカプセル」掘り起こし式

町内6つの小学校で12年前に6年生だった児童が埋めた「えとタイムカプセル」の掘り起こし式は8月10日、猪苗代ハーブ園で行われ、タイムカプセルを埋めた卒業生のうち、約70人が参加しました。セレモニーでは、代表して佐藤悠人さん（吾妻小卒）が「みんなとまた会うことができ良かった。これからも頑張っていきましょう」とあいさつ。参加者は、自分宛ての手紙や思い出の品を見せ合いながら、思い出や近況を語り合いました。



自分からの贈り物を手にし当時は懐かしむ参加者

スポーツで親睦を深める

町民球技大会で汗を流す



熱戦を繰り広げた家庭バレーボール

町民球技大会は8月11日、ソフトボールは町運動公園球技場で、家庭バレーボールはカメリーナを会場に開かれました。

ソフトボールには11チーム約190人が、家庭バレーボールには6チーム約80人が参加し、選手たちはスポーツを通じて親睦を深めながら爽やかな汗を流しました。熱戦の末、ソフトボールは月輪 West と扇田チームが優勝。家庭バレーボールは扇田と猪苗代Bチームが優勝しました。

沼尻軽便鉄道跡を走り歴史を学ぶ

猪苗代T & Fの小学生が約18kmをリレーマラソン

町スポーツ少年団陸上競技部の猪苗代T & Fは8月17日、子どもたちに沼尻軽便鉄道の歴史を知ってもらうとともに、いなわしろ軽便ウォークのPRをしようと沼尻軽便鉄道の線路跡をリレー形式で走りました。小学生ら約20人が参加し、複数のチームに分かれて川桁駅をスタート。終着駅の沼尻駅まで約18kmを走破しました。26回目を迎える同軽便ウォークは10月6日（日）に開催され、9月20日（金）から申し込みが始まります。



川桁駅前から元気よく走り出す小学生ら